日本ジオパーク委員会による再認定審査の指摘事項に対応するためのアクションプラン（案）

佐渡ジオパーク推進協議会

No.	JGCからの指摘事項（項目）	No.（審査結果報告書項目番号）	JGCからの指摘事項（要約）	方向性（2年後のあるべき姿）	対応するための具体的行動	実施体制								実施工程（案）							
						ジオパーク推進協議会事務局（ジオパーク推進室）	推進協議会部会				佐渡市（ジオパーク推進室を除く）	保全関係団体	観光関係団体	ガイド協会	年度	2018(H30)年度				2019(H31)年度			
							調査研究部会	教育部会	事業部会	広報部会					四半期	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
															JGC							再審査	審査結果発表
															協議会	通常総会			臨時総会	通常総会			
															予算額	18,458千円（うち協議会12,390千円）				未定（前年度予算ベース）			
1年以内に対応すべき事項						原案作成（※）	実施主体（◎）				協力者（○）		情報共有（●）		人員	7名（臨時職員2名含む）				7名（臨時職員2名含む）			
1	３つのプログラムの理解	1 (1)	ジオパーク、世界文化遺産、世界農業遺産の類似点と相違点の理解	３つのプログラムの目的の位置付け、役割分担が明確となり、それぞれが他を補完する形の推進体制が確立されている	市役所内実務担当者会議の開催 →市役所内横断的プロジェクトによる３つのプログラムのコンセプトの違い及び関連性の整理	※○	●	●	●	●	◎						プロジェクト						
					協議会において、行政の取組を基に協議会内での意思統一を図るために情報を共有する	※◎	○	○	○	○	○												
	ストーリーの再構築	2 (4)	ジオストーリーの再構築に基づく世界文化遺産、世界農業遺産とジオパークとの関わりの明確化	佐渡全体を語れるストーリーを再構築し、それを体現できるサイトの選定がなされており、それを活用して教育現場や庁内他課での取り組みとして動き出している	上記の取組を通して３つのプログラムのコンセプト及び関わりを整理し明確にする →ストーリーの再構築	※◎	○	○	○	○	○			●								
					完成したストーリーを核にして地域住民や観光関係団体に対し３つのプログラムの関連性や必然性の周知を行う	※◎		●	●	●	○	●	●	○								
2	サイトの再設定	2	ユネスコ世界ジオパークが提唱する地質、自然（もしくは生態）、文化サイトに分類し、佐渡ジオパークとしてのサイトを再設定すること	新たなストーリーに基づくサイトを再設定し、それを活用して教育現場や庁内他課での取り組みとして動き出している	当面は見どころとしてのポイントの高い箇所をサイトとして設定し活用していく	※○	○		○	○	◎		●	●		サイト設定				サイト活用			
					並行して予備調査の段階で選出されている旧ジオポイントを整理し再選定を行う	※◎	○																
					ストーリー構築のための地域調査、文献調査を行う	※◎	○	○				○		○									
3	視認性の向上	3	「佐渡ジオパーク」という文字の視認性の向上	観光客や地域住民に佐渡島がジオパークの島であることを認識してもらえるよう、ポスター、のぼり旗等の掲示を充実させる	交通機関、宿泊・観光施設などへポスターやのぼり旗等の設置についての協力要請をする 公共施設等においてもイベント時にアピールしてもらうよう協力要請をする	※◎			○	○	○		○									
					３つのプログラムが一体となったグッズ等の商品開発に向け検討を進め、商品化を図る	○			○	○	※◎		○				商品化検討会議				商品化（予定）		
4	保護・保全方針の決定	5	化石や鉱物などを含む地層の保護・保全の方針の決定	各サイトにおいて適切な保護・保全が行われている	文化財で定められている保存方針に準じてサイトの保護保全方針を策定する	※◎	○	○	●	●	○	○		●								
					サイト等の現況を調査し、情報を共有する	○	○	●	●	●	※◎			●								
					地域住民への啓発活動				○	○													

No.	JGCからの指摘事項（項目）	No.（審査結果報告書項目番号）	JGCからの指摘事項（要約）	方向性（2年後のあるべき姿）	対応するための具体的行動	実施体制									実施工程（案）								
						ジオパーク推進協議会事務局（ジオパーク推進室）	推進協議会部会				佐渡市（ジオパーク推進室を除く）	保全関係団体	観光関係団体	ガイド協会	年度	2018(H30)年度				2019(H31)年度			
							調査研究部会	教育部会	事業部会	広報部会					四半期	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
															JGC							再審査	審査結果発表
															協議会	通常総会			臨時総会？	通常総会			
2年以内に対応すべき事項						原案作成（※）	実施主体（◎）	協力者（○）	情報共有（●）														
1	活動の活性化	2	協議会全体の実質的な活動の活性化	協議会会員に対して、様々な活動への自主的な関与を促し、協議会全体で活動することについての共通認識の醸成を図る	会員に他のジオパークの視察や、JGN全国大会等へ参加してもらう	※◎	○	○	○	○	○		○	○									
					各部会の活動状況について運営委員会・総会の場で情報共有する	※◎	○	○	○	○	●	●	●	●									
2	看板・冊子類の改善	3	専門的すぎる看板や冊子媒体類の改善	看板等の改修計画を策定し、内容が難しい看板・冊子について更新していく	既存の看板・冊子媒体類の内容調査	※◎	○	○	○	○	○	○	○	○									
					看板等改修計画の策定	※◎	○	○	○	○	○	○	○	○									
					看板等の改修・冊子類の更新（随時）	※◎	○	○	○	○	●	●	●	●									
3	拠点施設再整備	4	佐渡博物館を含む拠点施設の再整備と系統的な情報発信の実施	佐渡博物館について、３つのプログラムの展示・インフォメーション機能を充実し、かつジオパークの拠点施設としても機能する施設として整備する 併せて他の博物館・資料館等も展示の充実を図りながら観光導線を意識した情報発信を行う	ジオパーク推進室（推進協議会）の事務室を佐渡博物館内に移設する（平成30年度内見込み）	※◎	●	●	●	●	○	●	●	●									
					３つのプログラムに関する展示の充実	※○	○	○	○	○	◎												
					他の博物館・資料館等の展示の充実 情報発信	※○	○	○	○	○	◎		●	●									
4	観光導線の構築	1	サイトの再設定に合わせて佐渡ジオパークを効率的に周遊するための導線の整備	来島者が迷うことなく各サイトを回れる仕組みづくりを、観光関係者やガイド、市民と連携して進める	看板等設置計画（仮称）を作成し、計画的な整備を進める	※◎	○	○	○	○	○		○	○			設置計画作成			整備開始（予定）			
					来島者がサイトを迷わず巡れる仕組みを観光関係者、ガイドとの協働により策定する	※○	○	○	○	○	◎		○	○									